

<プレス資料>

2015.11.14 (土) 渋谷アップリンクにてロードショー!

『ザ・トゥルー・コスト ～ファストファッション 真の代償～』



ファッション業界でも大量生産・大量消費が問題化

誰かの犠牲の上に成り立つファッションに変化が起き始めた!

トレンドはエシカル&フェアトレード・ファッション

ファッション産業の今と、向かうべき未来を描き出すドキュメンタリー

これは衣服に関する物語で、私たちが着る服や衣服をつくる人々、そしてアパレル産業が世界に与える影響の物語だ。これは食欲さと恐怖、そして権力と貧困の物語でもある。全世界へと広がっている複雑な問題だが、私たちが普段身に着けている服についてのシンプルな物語でもある。

この数十年、服の価格が低下する一方で、人や環境が支払う代償は劇的に上昇してきた。本作は、服を巡る知られざるストーリーに光を当て、「服に対して本当のコストを支払っているのは誰か?」という問題を提起する、ファッション業界の闇に焦点を当てたこれまでになかったドキュメンタリー映画だ。

この映画は、きらびやかなランウェイから鬱々としたスラムまで、世界中で撮影されたもので、ステラ・マッカートニー、リヴィア・ファースなどファッション界でもっとも影響のある人々や、環境活動家として世界的に著名なヴァンダナ・シヴァへのインタビューが含まれている。またフェアトレードブランド「ピープル・ツリー」代表サフィア・ミニの活動にも光を当てている。私たちは行き過ぎた物質主義の引き起こした問題に対して、まず身近な衣服から変革を起こせるのかもしれない。



監督：アンドリュー・モーガン プロデューサー：マイケル・ロス 製作総指揮：リヴィア・ファース、ルーシー・シーゲル 出演：サフィア・ミニ、ヴァンダナ・シヴァ、ステラ・マッカートニー、ティム・キャッサー、リック・リッジウェイ ほか
配給：ユナイテッドピープル 特別協力：ピープル・ツリー 協力：Dr.Franken
2015年/アメリカ/93分/カラー

■アンドリュー・モーガン(Andrew Morgan)監督メッセージ

ある朝、コーヒーを淹れようとしていたとき、ふと新聞の表紙に載った1枚の写真を見て、胸を打たれました。その写真は、二人の少年が行方不明者のチラシが貼られた大きな壁のそばを歩いているというもの。新聞を手にとると、それはバングラデシュのダッカ郊外の縫製工場で起こった倒壊事故の話で、死者千人以上、負傷者数千人という大きな事故でした。倒壊した当時、工場は欧米の大手ブランド向けに衣服を生産していました。私は間もなく、こういった悲劇がこれだけにとどまらないことを知りました。

アメリカで生まれ育った私は、自分の衣服がどこから来るかを深く考えたことは一度もありませんでした。しかし、ブランドの裏側にいる人々やその現場について学び始めると、そこにあった現実には衝撃的なものでした。ファッションは労働依存度がもっとも高い産業で、世界のもっとも貧しい多数の労働者たちが衣服の生産に従事しており、その多くが女性です。これらの女性の多くが最低限の生活賃金以下の賃金で、危険な労働環境で、基本的な人権さえもない状況で働いています。また、こういった労働者の搾取の問題に加え、ファッション産業は石油産業に続いて、2番目に環境汚染の多い産業でもあります。



今日、私たちはますますアウトソーシングを増やし、消費を拡大し（過去20年、米国だけでも衣服の消費は400%拡大しています）、より多くの資源を使用している一方で、衣服に支払う対価は過去のどんな時代よりも少なくなっています。また、工場における労働者の事故はかつてないほど多くなっており、環境への負荷はまったく持続不可能なレベルに拡大しています。



自分たちの行動に伴うコストが明らかになりつつ今、私たちはどんな世界を築いていくべきでしょうか。自分たちが人々や世界へ与える影響をリアルタイムに測ることができるこの時代において、私たちはこの困難を克服する新たなシステムを作ることはできるでしょうか。

これらの問いと、その答えの重大な意味が、私が『ザ・トゥルー・コスト』の監督を務めるきっかけとなりました。このドキュメンタリーは、世界中のファッション産業を探り、私たちが現在の状況やこれまでの過程を知り、よりよい未来を築いていく方法を考察するものです。この話題をめぐる議論は、あまりにも長い間、単純化されすぎた責任の押し付け合いに終始してきました。私たちは、この話題の政治的・経済的な複雑さに惑わされ、もっとも根本的かつ重要なモラルの問題を見落としてきたのです。つまり、環境への無責任な態度やもっとも基本的な人権の明らかな侵害の事です。これらは私たちを変えることができるもので、変えていかなければなりません。



世界はこの問題に目を向け始めており、よい道を選ぶ歴史的な好機を迎えています。人類は声を上げることできないもののために、声を上げるものができた時に進歩します。このような声を無視せず時機を失わなければ前進します。そして、「誰かの利益は、他の人々を搾取することによって得られるものであっては決してならない」ということを理解することが大きな前進なのです。私は、この映画が人間の進歩に必要な一歩となることを心から願っています。

■アンドリュー・モーガン監督プロフィール

アンドリュー・モーガンは、よりよい世界の実現をテーマにした映画の監督として国際的に知られ、これまでにフィクションからドキュメンタリー、コマーシャル、映画まで幅広い作品に携わっています。彼はロサンゼルスフィルムスクールでシネマトグラフィーを学んだ後、さまざまなテーマを扱う映画スタジオの **Untold Creative** を共同で設立、現在は同社でクリエイティブディレクターを務めています。また、ハフィントン・ポストにも寄稿してお

り、世界中の人権をめぐる戦いにおいて物語が果たす役割について、日々自らの考えをつづけています。彼は現在、ロサンゼルスに妻のエミリーと 4 人の子どもたちと一緒に住んでいます。

■プレス素材

写真 (flickr)

<https://www.flickr.com/photos/45498997@N02/albums/72157658458185001>

メイン写真

<https://www.flickr.com/photos/45498997@N02/20687706714/in/album-72157658458185001/>

サブ写真

<https://www.flickr.com/photos/45498997@N02/21123513729/in/album-72157658458185001/>

<https://www.flickr.com/photos/45498997@N02/21318556801/in/album-72157658458185001/>

※それぞれの写真の右下の矢印をクリックしてダウンロードしてください。

ポスター画像

<http://unitedpeople.jp/truecost/wp-content/uploads/TCposter.jpg>

オフィシャル HP: <http://unitedpeople.jp/truecost/>

facebook: <https://www.facebook.com/truecostjapan>

twitter: <https://twitter.com/thetruecostj>

<お問い合わせ先>

ユニテッドピープル 電話 : 092-407-9799 メール : press@unitedpeople.jp

URL: <http://unitedpeople.jp/>